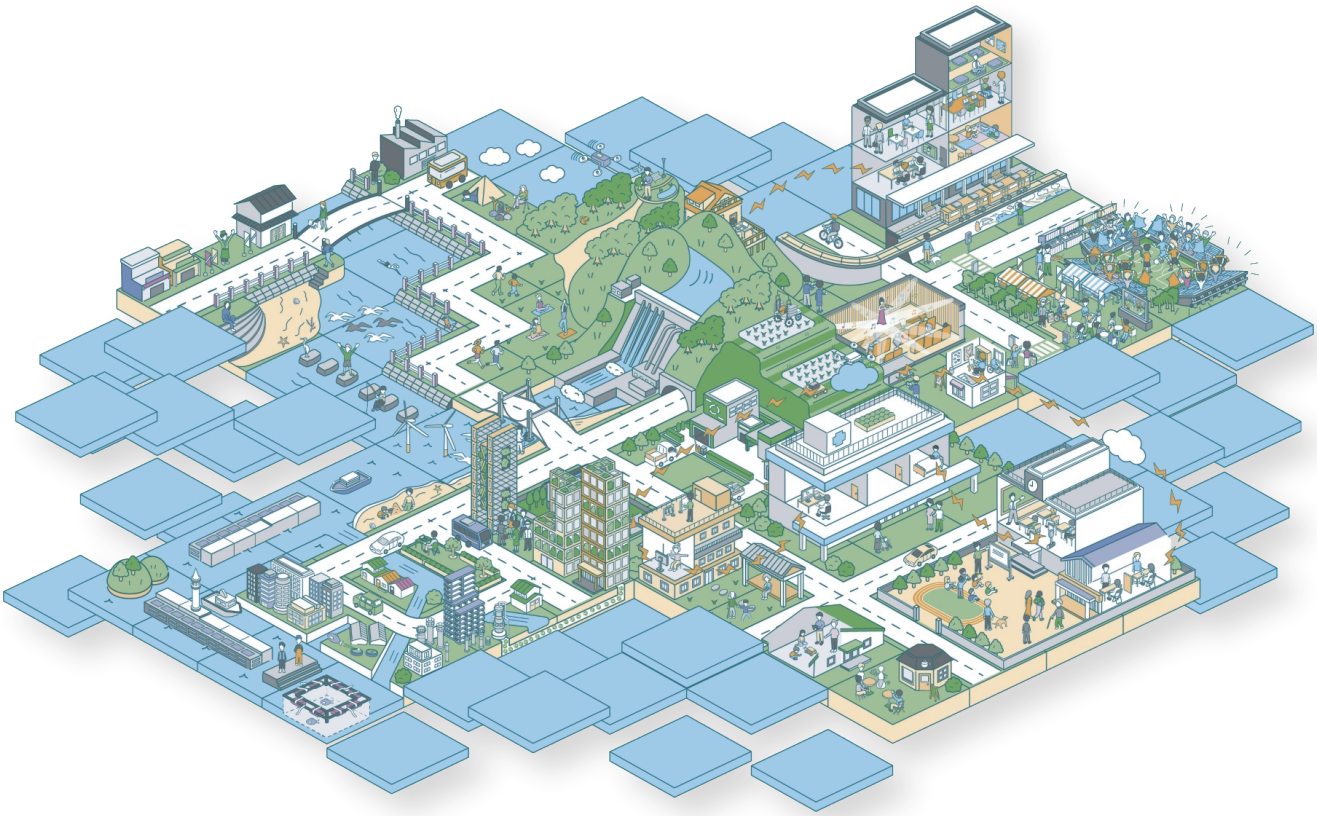
一般社団法人プラチナ構想ネットワーク



プラチナ社会の実現を目指す
活動のご紹介

プラチナ構想ネットワークについて

プラチナ構想ネットワークは、プラチナ構想を理念とするネットワークを形成することで叡智を結集、課題を解決し、プラチナ社会の実現を目指します。

プラチナ構想とは、**プラチナ社会を目指す人々が連携して前に進むための構想**

人類は、地球温暖化、エネルギーや資源の制約など、あらゆる課題に直面しています。その中でも日本は更に、高齢化、少子化も進み、課題先進国です。我々はそれらを打破するために、理念を同じくする人々が、一致団結して課題を解決し、今こそプラチナ社会を目指す必要があります。プラチナ構想ネットワークは、その構想を掲げ、活動を推進します。

プラチナ社会とは、**地球が持続し、豊かで、すべての人の自己実現を可能にする社会**

■ **プラチナ社会の5つの要素**

・**「エコロジカルで」「資源の心配がなく」「老若男女が全員参加し」「心もモノも豊かで」「雇用のある社会」**

■ **目指すべき社会像**

・**「資源自給」**（再生可能エネルギー、都市鉱山、バイオマスの成長により、資源の国内自給社会を目指す）
・**「人財成長」**（多世代が学び合うアクティブラーニングの場で、人財が生涯成長する社会を目指す）
・**「住民出資」**（「資源自給」「人財成長」実現のために、住民自らが出資する民主主義/資本主義社会を目指す）

組織概要

会員である法人、自治体はともにトップ（経営、首長）が実際に活動に参加し、社会実装会員や個人会員（有識者）が活動をサポートします。

設　立 ――― 2022年1月　（前身の任意団体は2010年8月～2022年4月）

組　織 ――― 一般社団法人（会員制）

会　員 ――― 法人会員（A 63団体、B 58団体、C 71団体）、自治体首長会員（226名）、学術・研究会員（3団体）
社会実装推進会員（5名）、個人会員（86名）、未来共創会員（615名）　計1046団体・個人　※2026年8月現在

会　長 ――― 小宮山　宏　株式会社三菱総合研究所 理事長、東京大学第28代総長

年会費 ――― 法人会員（A 100万円以上、B 50万円、C 10万円以上）、学術・研究会員（10万円以上）
社会実装推進会員・個人会員（1口5千円以上）　自治体首長会員は無料　未来共創会員はICF規定による

社　員 ――― 法人会員（A・B）、社会実装推進会員、個人会員

3つの活動フェーズ

プラチナ構想ネットワークの活動は、理念形成から啓蒙活動、さらには社会実装まで、大きく3つのフェーズに分けられます。

理念の形成と普及

プラチナ社会の具体像を研究・提案し、先進的な取組（基本モデル）の発掘や会員相互での本質的かつ深い議論などを通じて、ネットワーク・連携の強化や全国的な情報発信に取り組みます。

・プラチナ懇談会（会長の司会で首長と経営トップを交えた意見交換、計141回開催）
・プラチナ大賞（優れた取組の表彰と情報化、これまでに13回開催）
・プラチナTV（YouTubeを活用した当会の活動紹介）

プラチナTVはこちら

人財育成

小学生から社会人まで、老若男女、外国人、異種の経験など多様性が刺激しあう環境で、社会課題の解決に挑戦し、参加するすべての人が成長する「Lifelong Active Learning」の場を構築しています。

・プラチナ構想スクール（自治体職員の課題解決力を養成、82自治体・319名の修了生を輩出）
・プラチナ未来人財育成塾（中高生対象の未来人財育成塾、912人が卒業）
・プラチナ未来スクール（小学生対象の課題解決力養成塾、1325人が卒業）

社会実装

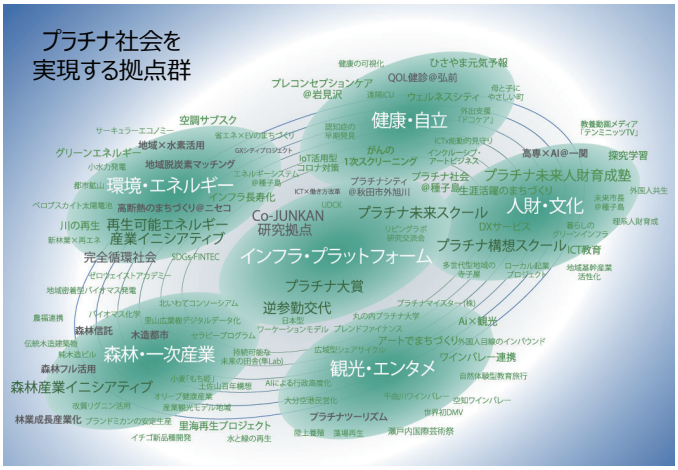
健康・自立、再生可能エネルギー、第1次産業、循環経済、観光、教育、インフラなどプラチナ社会の重要産業のビジネス化を目指しています。プラチナ構想ネットワーク自体は、ビジネス活動の主体ではありませんが、新ビジネスの概念・モデル構築、プロトタイピング（小規模実装）、活動主体との連携、実装のためのチームの組成など、新ビジネス創出のために現在欠けている部分を担っています。

・プラチナ会員連携支援プロジェクト（「自治体×企業」や「企業×企業」で社会実装）
・プラチナ産業イニシアティブ（大規模で複雑な課題に対し、影響のある主体が、競争前段階で協力して政策提言および先導的な取組を支援＜森林、再生可能エネルギー＞）
・特定地域でのプロジェクト組成（北海道、秋田、北いわて、長野、九州ほか）

プラチナ産業イニシアティブ

プラチナ社会実現のために、我々が直面している大きな課題を、志ある会員たちでネットワークを形成して解決、達成を目指します。

プラチナ社会の実現を目指す取組はネットワークの最大の財産であり、拠点群を形成していますが、個々の取組だと小規模かつスピード感も乏しいと思われます。プラチナ産業イニシアティブはこうした取組をビジネス化し、群として産業化し社会に実装する主体です。2050年のプラチナ社会実現に向けて、会員が集まりビジョンとシナリオを作成し、社会実装を行います。他の主体と協働し、日本中でダイナミックに活動を展開します。
2025年4月現在、プラチナ森林産業イニシアティブとプラチナ再生可能エネルギー産業イニシアティブが活動を開始しており今後は人財、健康、観光分野の産業イニシアティブを立ち上げてまいります。



プラチナ森林産業イニシアティブ

（2022年10月設立）

日本の豊富な森林資源を活用し、脱炭素化、経済安全保障強化、経済構造改革、地方創生、森林文化の醸成を同時に実現するため「プラチナ森林産業イニシアティブ」を立ち上げました。ビジョンの柱は「石油化学からバイオマス化学への転換」、「木造都市の展開」、「森林・林業の革新」です。これらの実現に向けて、推進戦略とロードマップに沿って先導プロジェクトを立ち上げ、推進していきます。

〈概要ページはこちら〉

プラチナ再生可能エネルギー産業イニシアティブ

（2024年12月設立）

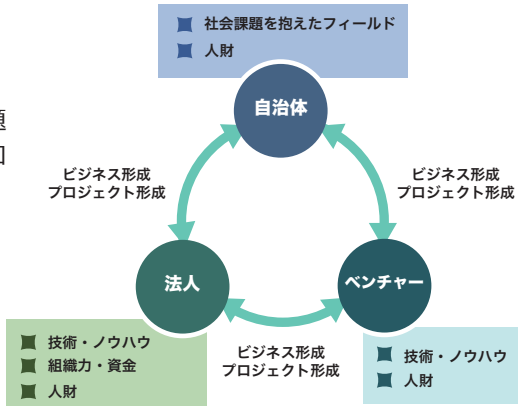
化石燃料依存から脱却し、日本のエネルギー需給構造を変革するため、「プラチナ再生可能エネルギー産業イニシアティブ」を立ち上げました。需要・供給・需給安定化・コンセンサスの観点から「2050エネルギービジョン」を公表、”2050年の総エネルギー需要の約8割を国内再生可能エネルギーで供給する”目標を掲げました。ビジョン実現に向けてロードマップと推進戦略を策定し、また並行して社会的合意形成や社会実装を進めています。

〈概要ページはこちら〉

会員のメリット

プラチナ構想ネットワークの会員になることで、以下のメリットを享受することができるようになります。

会員相互のネットワーク・連携強化	プラチナ懇談会へのご出席等を通じて、企業経営者、自治体首長や第一線の学識経験者等とのネットワーク構築や最先端のチャレンジを知ることができます。
プラチナ大賞	応募を通じて、貴社の先導的な取組を全国的に情報発信できます。
各種スクール（構想スクール、未来人財育成塾、未来スクール）	自治体職員、中学生、小学生などを対象として、社会課題解決に貢献する人財育成を行っています。スクールへの参加や講義の聴講ができます。
先進的取組みの社会実装	会員相互のマッチングを通じてプロジェクト形成を支援し、社会課題解決に取り組みます。
プラチナ産業イニシアティブへの参加	会員を中心に産官学で社会実装に取り組むイニシアティブ活動にご参加いただけます。



文明によって得られた自由を存分に活用し、21世紀に日本が世界に先駆けて直面している諸課題を解決し「資源自給・人財成長・住民出資」国家を目指し、プラチナ社会を実現していこうではありませんか。
皆様のご参加を心よりお待ち申し上げます。

一般社団法人プラチナ構想ネットワーク　会長

プラチナ
構想ネットワーク

一般社団法人プラチナ構想ネットワーク

〒100-8141　東京都千代田区永田町 2-10-3 東急キャピトルタワー 9 階
TEL：03-6858-3546　FAX：03-5204-9563
e-mail：jimuinfo@platinum-network.jp
https://www.platinum-network.jp

プラチナ構想ネットワーク

2026 年 8 月版